

An aerial photograph of a town situated along a wide river. A large cable-stayed bridge spans the river in the middle ground. The town is densely packed with buildings, and a railway line runs through it. In the background, there are green, forested hills and mountains under a clear sky.

# 久保・長江中学校区の学校再編について 第3回土堂小学校区地域説明会

令和5年7月13日 尾道市教育委員会

# 1.土堂小学校の検討（土堂地区説明会主な意見）

6月3日 土堂地区説明会での主な意見

土堂小学校は校舎を耐震化して存続させるべきである。

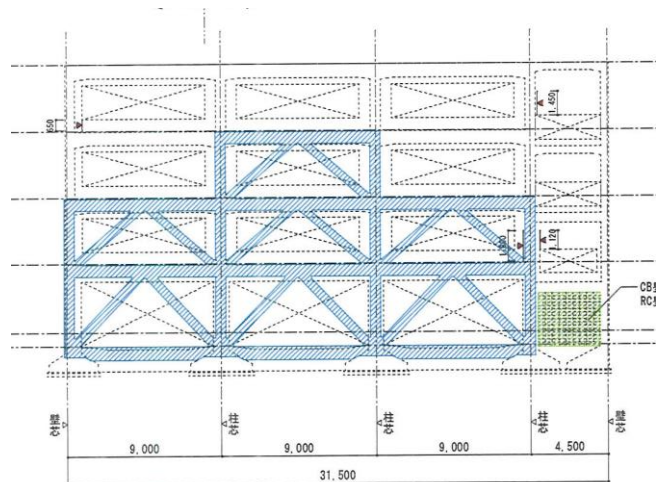
築80年を経過しても学校として使用している施設もある。

土砂災害防止法の特別警戒区域内に施設の建設はできるはず、また市内の多く  
学校が区域内に該当する。

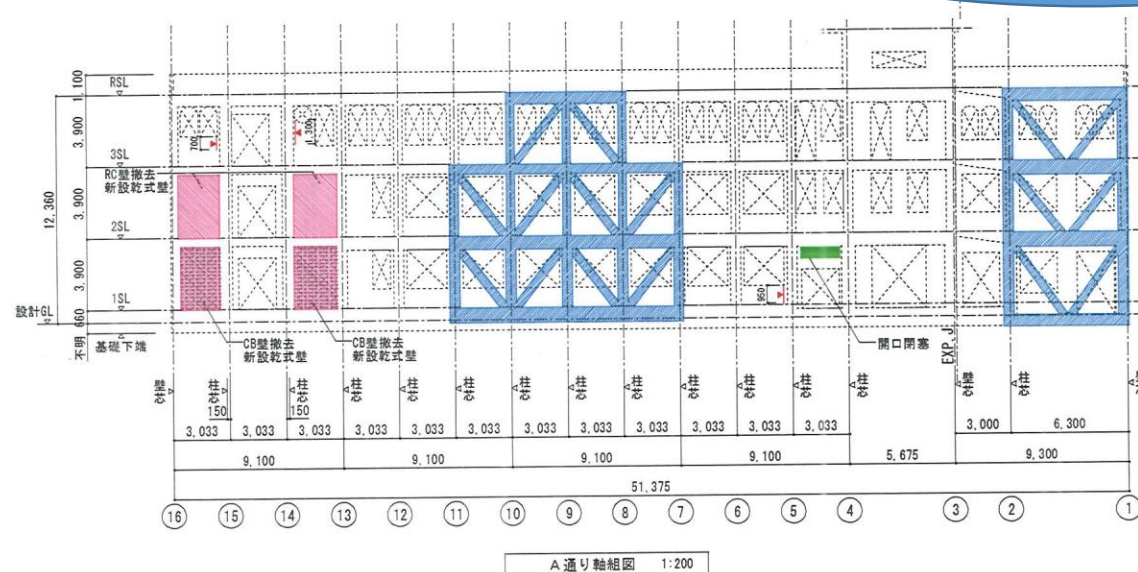
## 耐震化の検討結果

- ・ 耐震補強工事の概要
- ・ 施工上の課題 通行止めなど

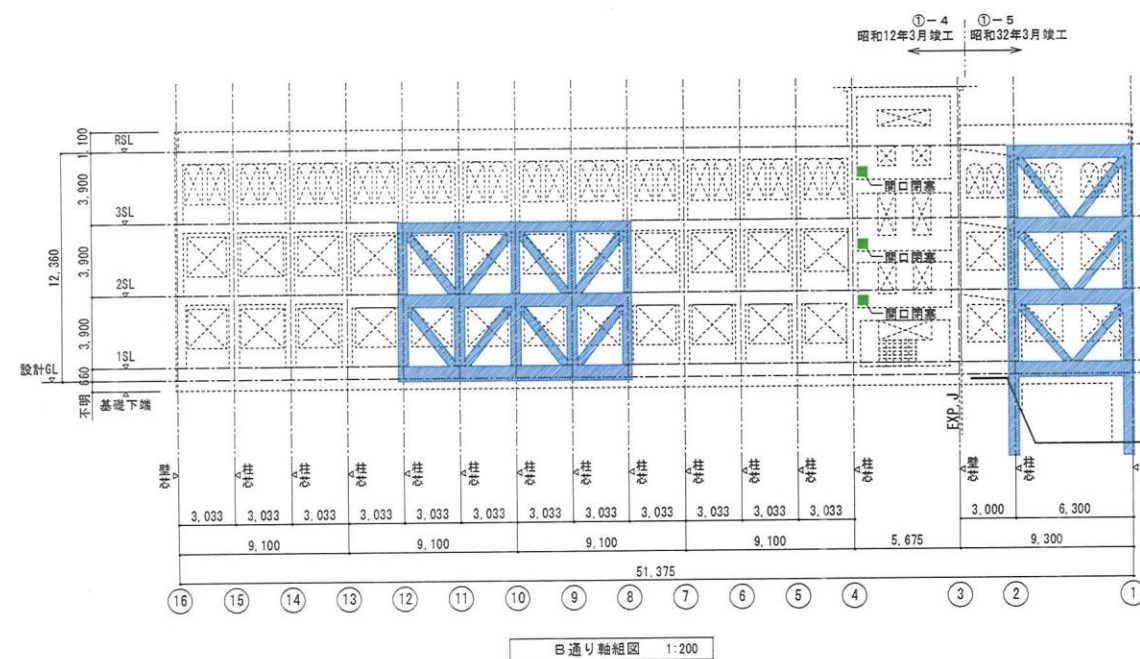
# (1) 耐震化の検討結果



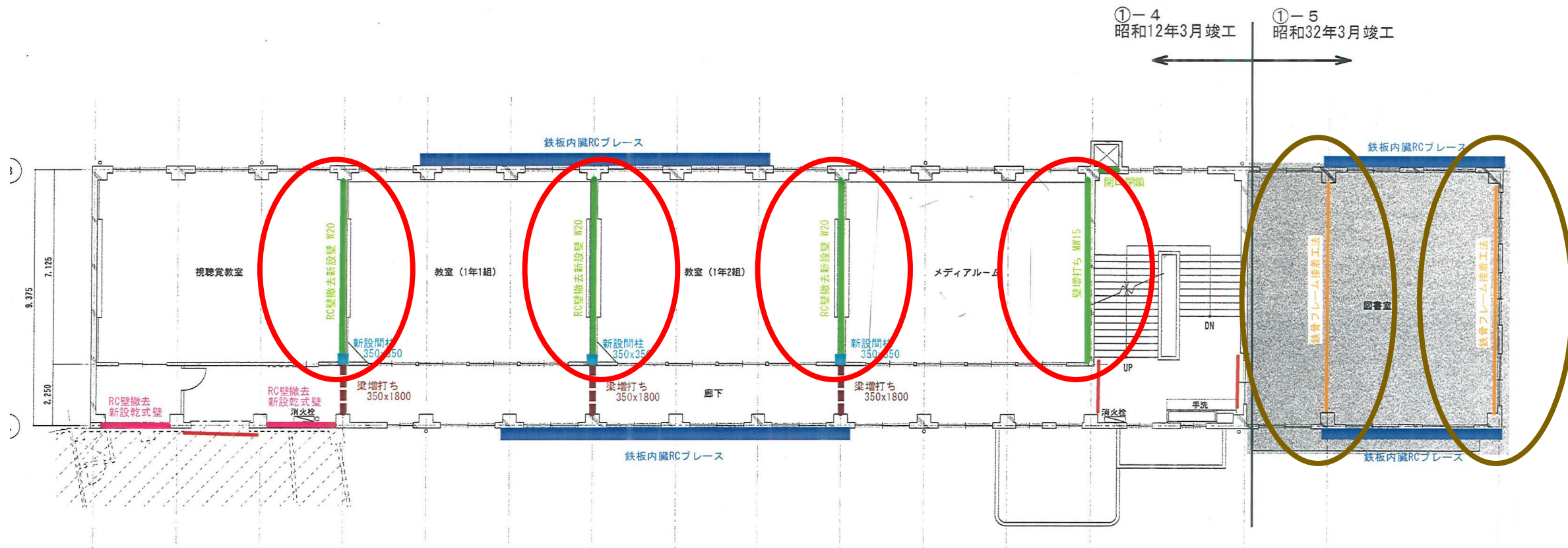
C 通り軸組図 1:200



**鉄骨フレームの設置**



# (1) 耐震化の検討結果



**耐震壁の改修  
(内壁の付け替え)**

**内部への  
鉄骨フレーム設置**

# (1) 耐震化の検討結果



校舎の柱が隣接道路付近へある  
⇒補強を行う際、通行止め

通行止め (3~4カ月)

進入用スロープ

4t車がグラウンドへ進入するため  
には進入用スロープが必要

# (1) 耐震化の検討結果

事業費（耐震補強+長寿命化改修+特別警戒区域解消工事など）の概要

①耐震補強工事

+

②長寿命化改修  
(コンクリート中性化対策)

安全確保

+

③大規模改修  
(床・壁・天井など劣化改修)

安全確保

今後、継続的に使用するためには  
老朽化対策が必要

+

④特別警戒区域対策工事（学校敷地内のみ）  
進入用スロープの設置

# (1) 耐震化の検討結果

事業費（耐震補強+長寿命化改修+特別警戒区域解消工事など）の概要

7.6億円

## ① 耐震補強工事

Is値を0.75以上とするため  
耐震補強

棟	棟番号	建築年	既存Is値
教室・便所棟	①-1	S35	0.16
	①-2	S34	
	①-3	S39	
管理教室棟	①-4	S12	0.29
教室棟	①-5	S32	0.20

H30.3.22-H31.3.29 設計業務委託による算定  
外壁ブレース（鉄骨）設置  
内壁改修  
内部へのブレース（鉄骨）設定など



# (1) 耐震化の検討結果

継続使用を行うためには長寿命化改修が必要

事業費（耐震補強+長寿命化改修+特別警戒区域解消工事など）の概要

築80年の  
経年劣化

②長寿命化改修  
(コンクリート中性化対策)

13.3億円

③大規模改修  
(床・壁・天井など劣化改修)

コンクリート強度

コンクリート中性化

	S35	①-1	コンクリート強度 (N/mm <sup>2</sup> )			
			3F	4F	3F	4F
教室棟	S35	①-1	16.5	14.8	18.7	<u>12.1</u>
			17.7	18.3		
	S39	①-3	20.5	15.2	20.1	-
管理教室棟	S12	①-4	13.8	<u>12.9</u>	18.9	-
教室棟	S32	①-5	18.1	22.4	19.5	-

低強度コンクリート  
(13.5N/mm<sup>2</sup>未満)

低強度コンクリート  
(13.5N/mm<sup>2</sup>未満)の存在

棟	建築年	中性化深さ (mm)	中性化深さ 基準値 (mm)
教室・便所	S35	<u>30.8</u>	28.4
			28.6
			27.4
管理教室棟	S12	<u>51.4</u>	33.5
教室棟	S32	<u>49.7</u>	29.1

中性化の進行が基準値を超えている  
⇒鉄筋のさびによる劣化が危惧される

土堂小学校  
コンクリート強度  
12.1~22.4N/mm<sup>2</sup>

Bank  
コンクリート強度  
19.2~27.4N/mm<sup>2</sup>

土堂小学校  
中性化深さ  
S12 管理教室棟  
基準33.5mm 実測51.4mm

Bank  
中性化深さ  
基準25.3mm 実測1.7mm

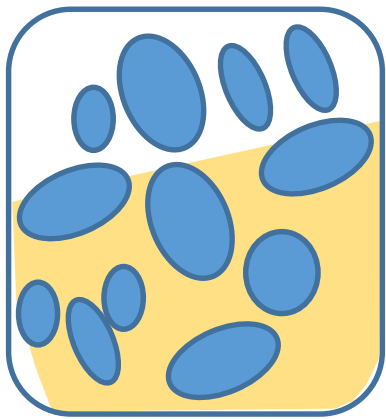
# (1) 耐震化の検討結果

(参考) 土堂小学校 校舎の粗悪なコンクリート部分

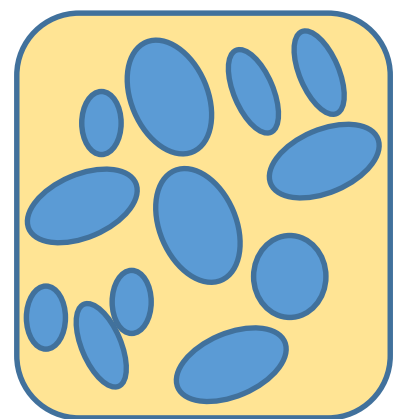
通常な状況



粗悪な状況



**ジャンカ (粗悪) :**  
⇒骨材 (石) の間に  
モルタルがなく骨材が  
独立している



**通常 :**  
⇒骨材 (石) の間に  
モルタルが隙間なく  
充填されている。

# (1) 耐震化の検討結果

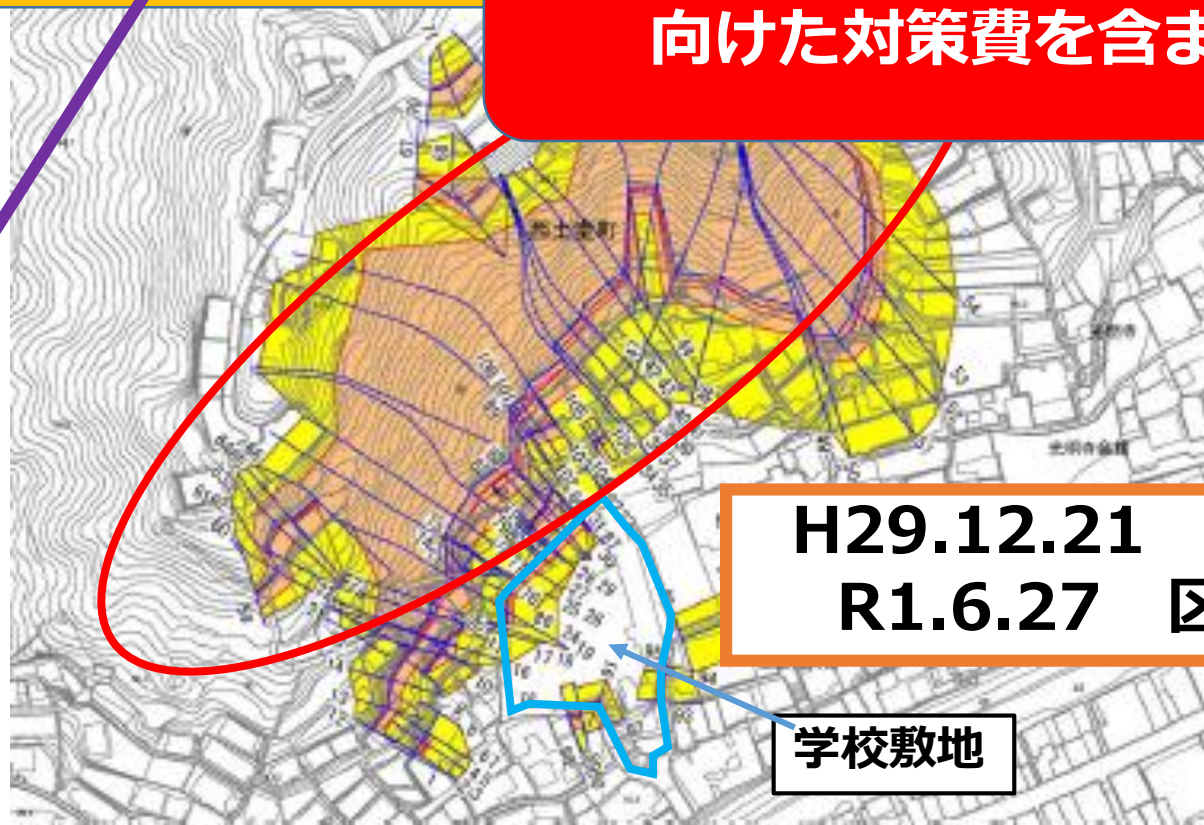
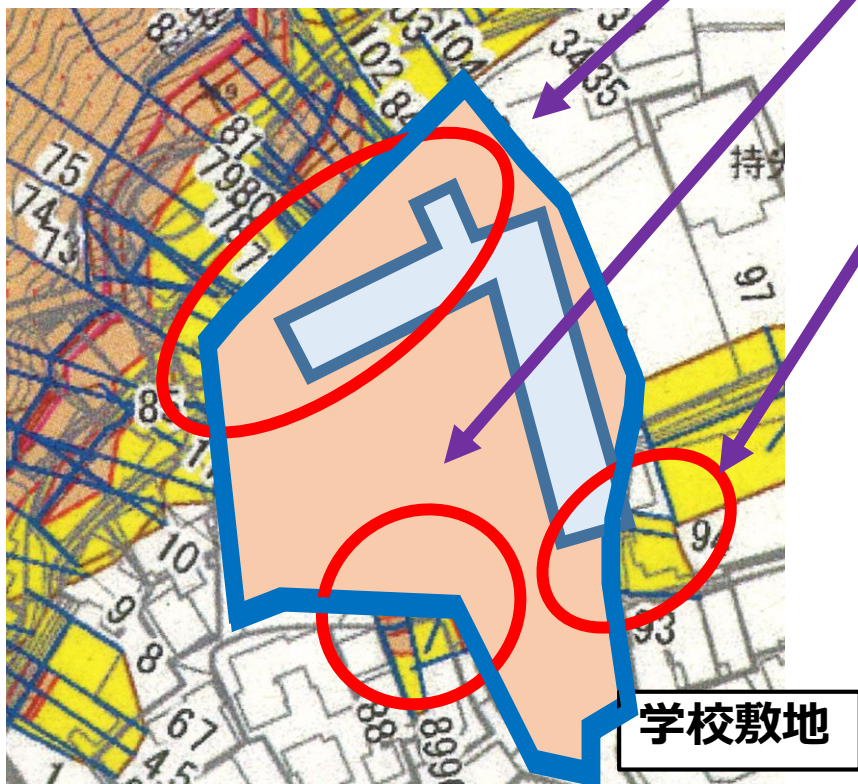
事業費（耐震補強+長寿命化改修+特

敷地内の特別警戒区域の解消対策  
※ただし、対策後も警戒区域となる

0.9億円

④ 特別警戒区域対策工事（学校敷地内のみ）  
進入用スロープの設置

※後背地の特別警戒区域の解消に  
向けた対策費を含まない



H29.12.21 区域公表  
R1.6.27 区域指定

# (1) 耐震化の検討結果

事業費（耐震補強+長寿命化改修+特別警戒区域解消工事など）の概要

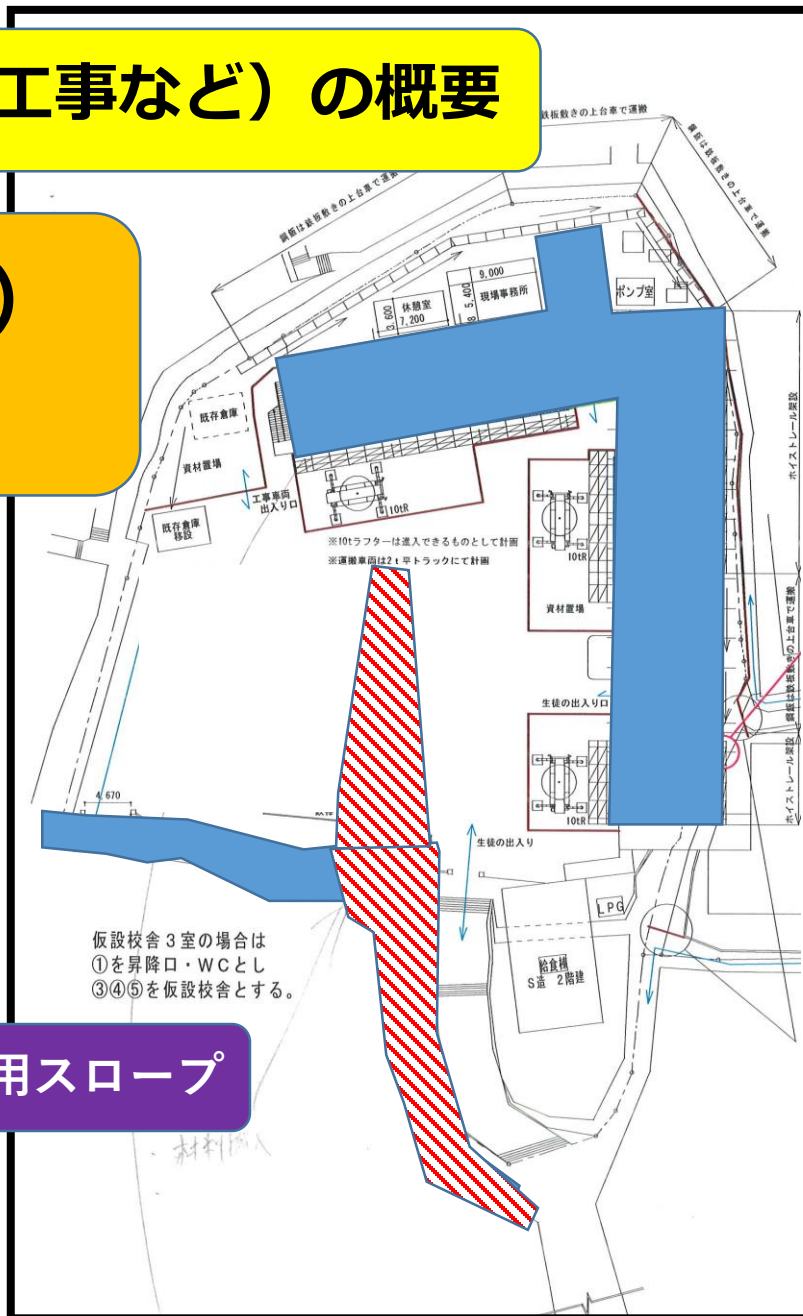
## ④ 特別警戒区域対策工事（学校敷地内のみ）

進入用スロープの設置 0.5億円

④ 全体で  
1.4億円

4t車が進入できるように  
進入用スロープの整備

進入用スロープ



# (1) 耐震化の検討結果

事業費（耐震補強+長寿命化改修+特別警戒区域解消工事など）の概要

7.6億円

①耐震補強工事

+

安全確保

②長寿命化改修  
(コンクリート中性化対策)

+

安全確保

③大規模改修  
(床・壁・天井など劣化改修)

+

1.4億円

④特別警戒区域対策工事（学校敷地内のみ）  
進入用スロープの設置

※後背地の特別警戒区域の解消に向けた対策費を含まない

事業費：22億円

工期：3年

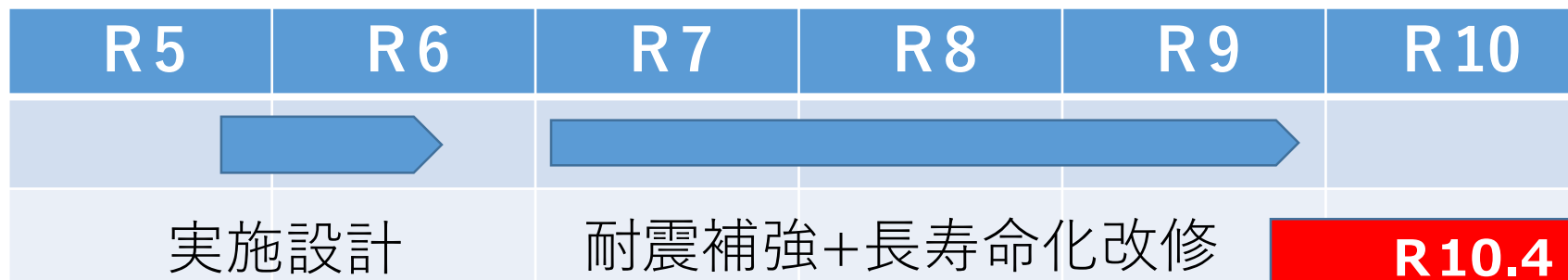
今後、継続的に使用するためには  
老朽化対策が必要

# (1) 耐震化の検討結果 (スケジュール)

## 土堂小学校 (耐震補強+長寿命化改修)

R9年度 工事完了

施設整備



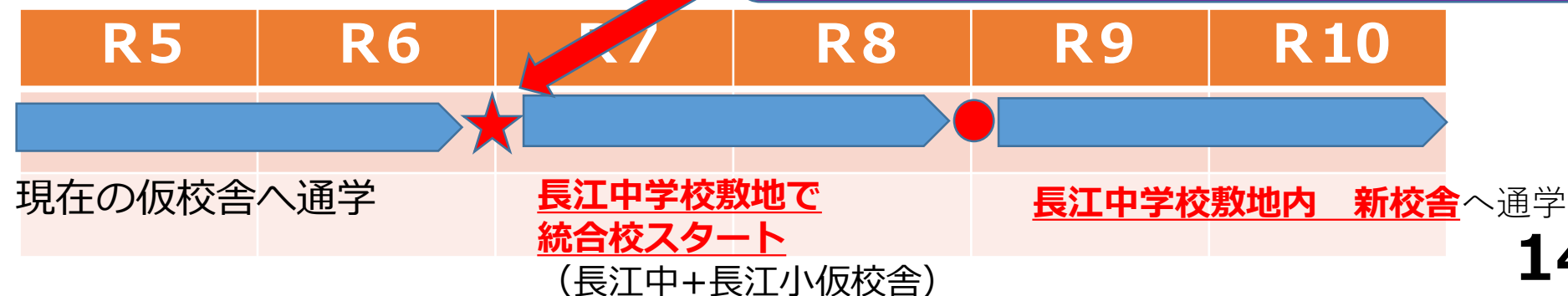
R10.4 移転

児童の動き



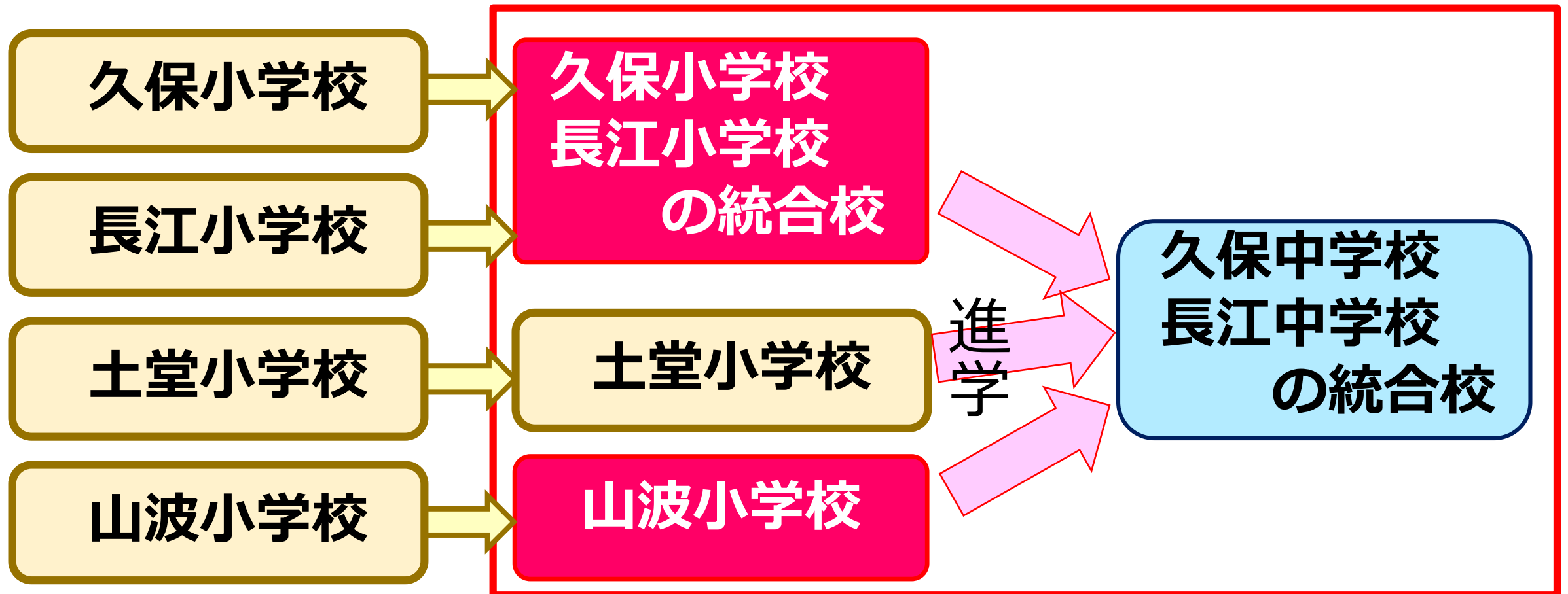
## 3小学校統合校 (久保小、長江小、土堂小)

児童の動き



千光寺公園Gの仮校舎での生活が3年長くなる

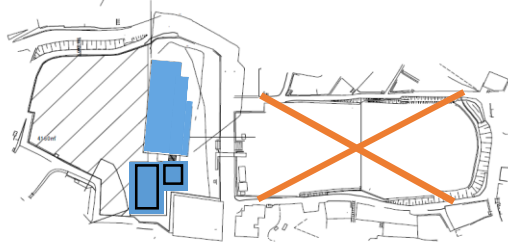
# 土堂小学校を存続した時の費用比較



# 土堂小学校を存続した時の費用比較

事業費 計86億円

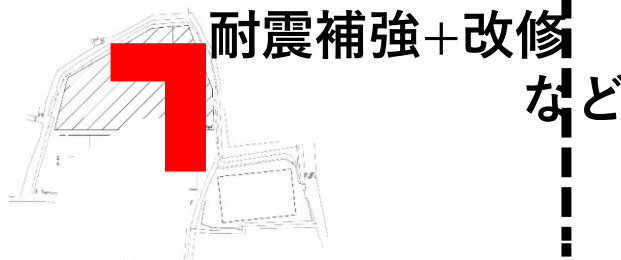
## 統合小学校



長江中学校敷地

事業費 31億円

## 土堂小学校



土堂小学校敷地

事業費 22億円

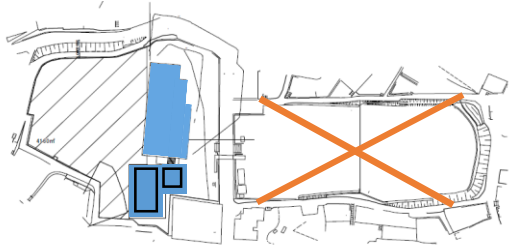
## 統合中学校



久保中学校敷地

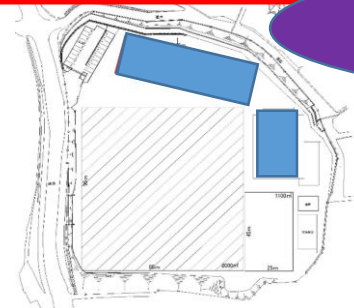
事業費 33億円

## 統合小学校



事業費 31億円

## 統合中学校



事業費 33億円

事業費 計64億円



# 1.土堂小学校の検討について

築80年を経過しても学校として使用している施設もある。

## ②校舎の耐久性（建築年数に伴う影響）

(ア) 3小学校の校舎は、建築年数を経過しており、耐震化しても今後継続して使用できる年数が多く見込めない

(イ) 大規模改修での延命も文部科学省の示す築80年を経過している建物であるため困難 ※現在の校舎を耐震補強して使用し続けることは行わない方針

⇒ 久保小校舎（S8建築）、土堂小校舎（S12建築）の継続使用は行わない（築80年を経過した建物）

# 1.土堂小学校の検討について 学校施設管理の方針（考え方）

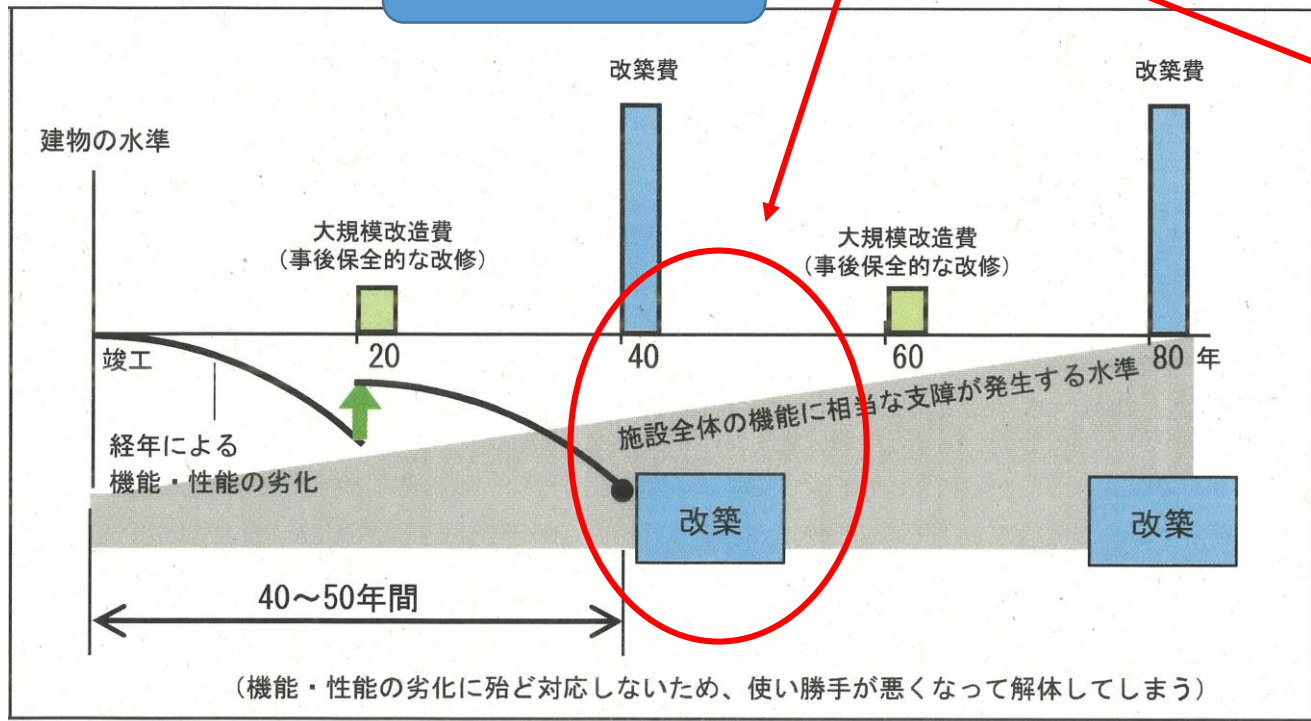
## 学校施設の長寿命化（文部科学省）について

築40年を経過したところから、改築か長寿命化改修を検討する

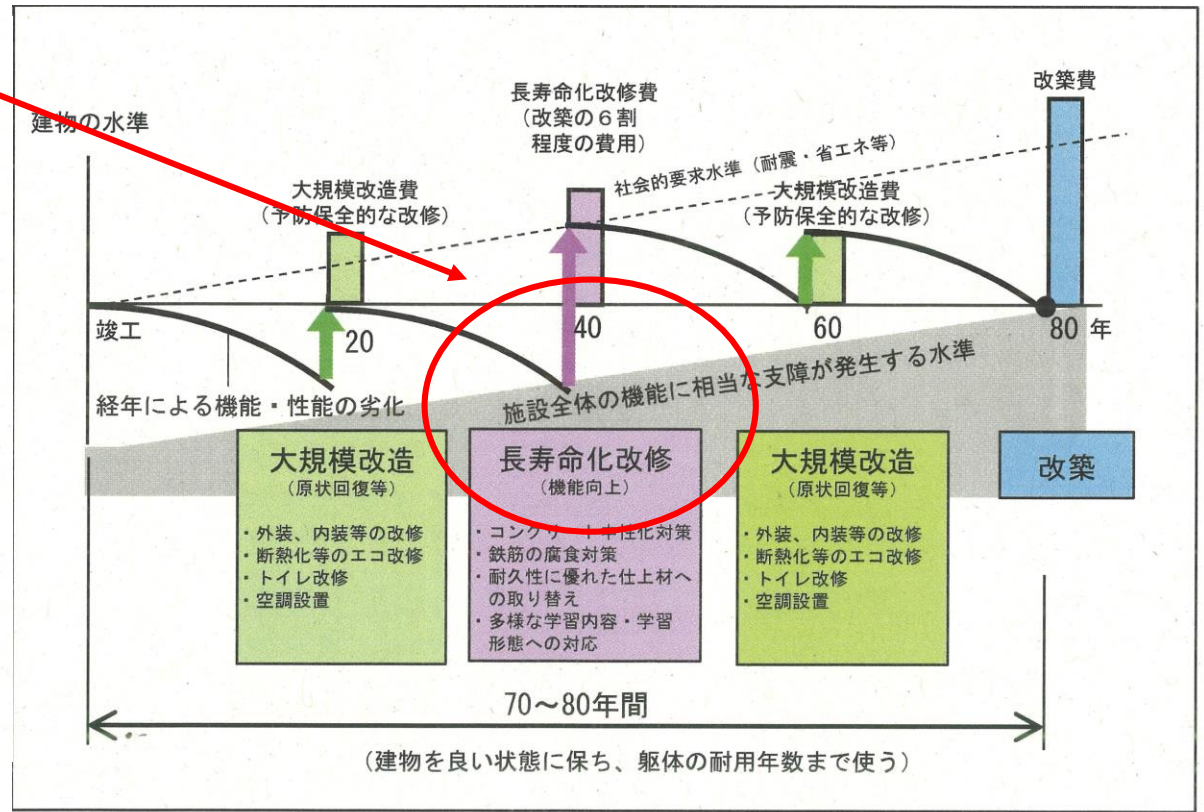
築40年で  
長寿命化改修

校舎を築80年まで  
使用

築40年で改築



従来の建物管理



長寿命化への変換イメージ

# 1.土堂小学校の検討について

土堂小学校は校舎を耐震化して存続させるべきである。

築80年を経過しても学校として使用している施設もある。

## ②校舎の耐久性（建築年数に伴う影響）

(ア) 3小学校の校舎は、建築年数を経過しており、耐震化しても今後継続して使用できる年数が多く見込めない

(イ) 大規模改修での延命も文部科学省の示す築80年を経過している建物であるため困難 ※現在の校舎を耐震補強して使用し続けることは行わない方針

⇒ 久保小校舎（S8建築）、土堂小校舎（S12建築）の継続使用は行わない（築80年を経過した建物）

土堂小学校校舎の耐震化は可能

築80年で建物が使用できなくなるわけではない

①耐震補強を行っても、建物の寿命が延びるわけではない

⇒近い将来建て替えが必要な状況

⇒耐震補強のみでは、老朽化に伴う安全確保ができない

②築年数の経過に伴う施設の老朽化によって、事故のリスクも高まることから

子どもたちの安全確保を目指し、継続使用を行うのではなく、建替え等を行うべき

# 1.土堂小学校の検討について

土砂災害防止法の特別警戒区域内に施設の建設はできるはず、  
また市内の多く学校が区域内に該当する。

尾道市内では、平成21年度以降、土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定があった

その結果、多くの学校が区域内に該当

区域内に学校施設（校舎などの建物）を設置したという経緯ではない

区域内に該当した学校では

- ・避難確保計画を作成
- ・警報発令時、危険性のある教室を使用しない

安全確保のための対策

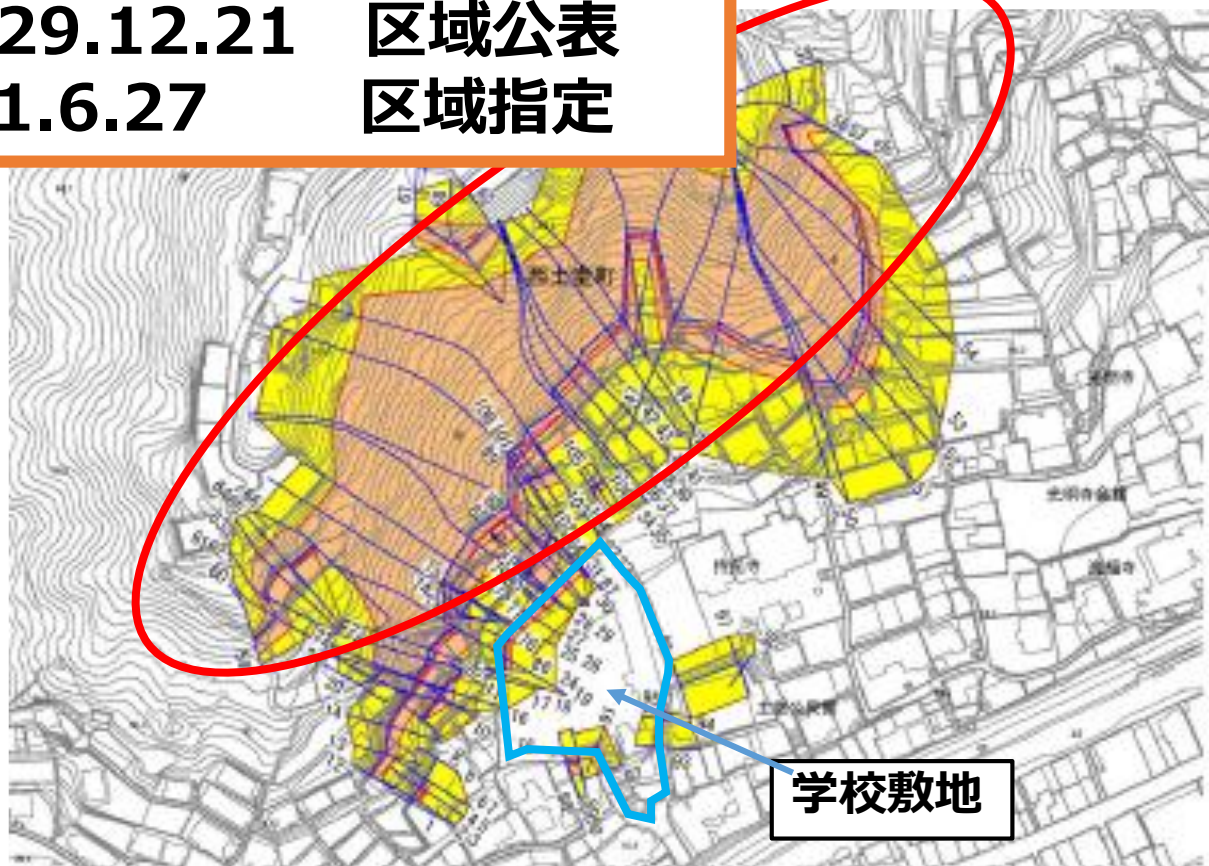
今後、新たに整備する学校は、子どもたちの安全確保のため

災害等による危険の少ない“より安全な土地”へ学校施設を整備

# 1.土堂小学校の検討について

土堂小学校 後背地の特別警戒区域  
指定範囲が大きく学校敷地への影響もあると考える

H29.12.21 区域公表  
R1.6.27 区域指定



土堂小学校敷地

H29.12.21 区域公表  
R1.11.7 区域指定



再編後の小学校  
学校敷地

長江中学校敷地

どこが、子どもたちの安全確保にとって適切か？

# 土堂小学校の検討について

現在の提案に至った理由

特別警戒区域内への建物の建築可能  
(建物の構造等へ規制等あり)

土堂小学校校舎の耐震化は可能

土堂小学校敷地への新校舎の建築可能

耐震補強に加え長寿命化改修が必要なこと

子どもたちの安全確保のため

警戒区域等の指定、校舎の老朽化による危険性

土堂小学校校舎の継続使用ではなく、新たな建物を検討

土堂小学校敷地ではなく、より安全な土地で施設整備を検討

# 土堂小学校の検討について

現在の提案に至った理由

今後の土堂小学校児童減少に伴い、  
適正な学校規模の確保が必要なこと

統合校の設立が必要  
(土堂小学校単独での存続はしない)

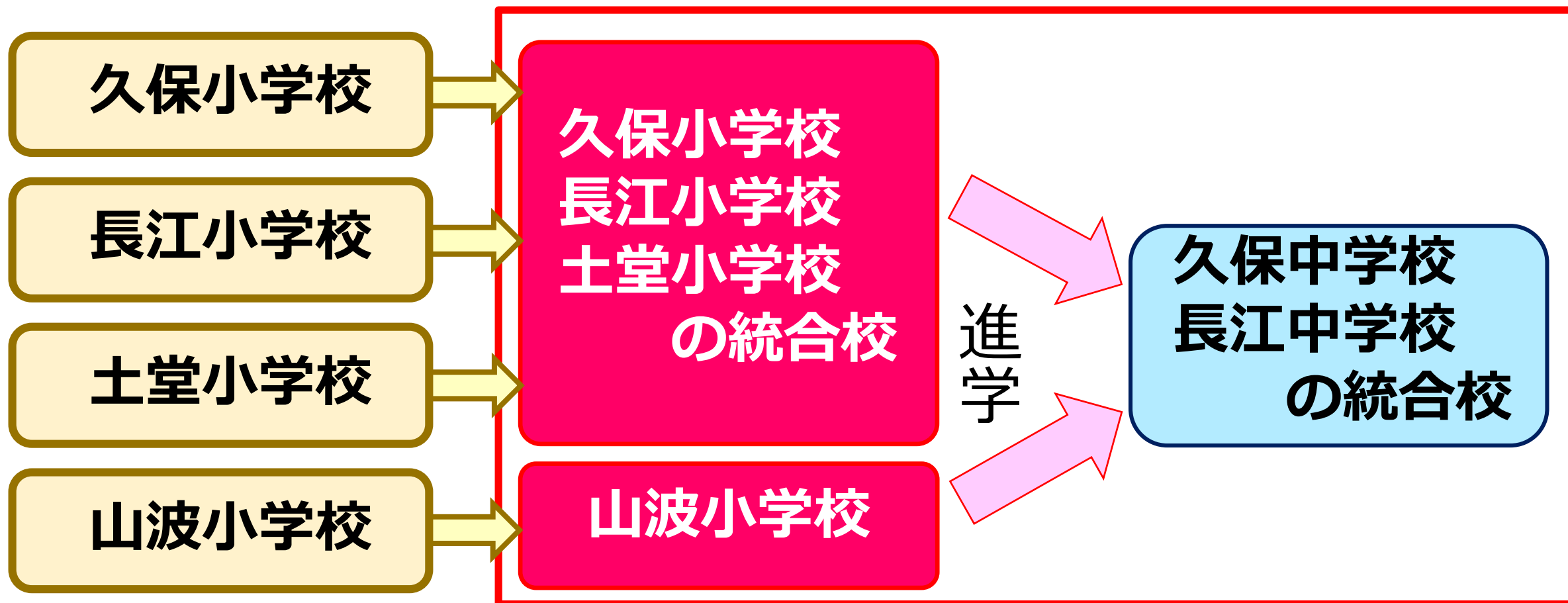
統合による新設校を、より安全な土地へ設置することを検討

子どもたちの安全確保を最優先に  
施設整備を行う

# 学校再編案について

## 小中一貫教育校

(令和7年4月開校 ⇒ 令和9年4月新校舎使用開始)

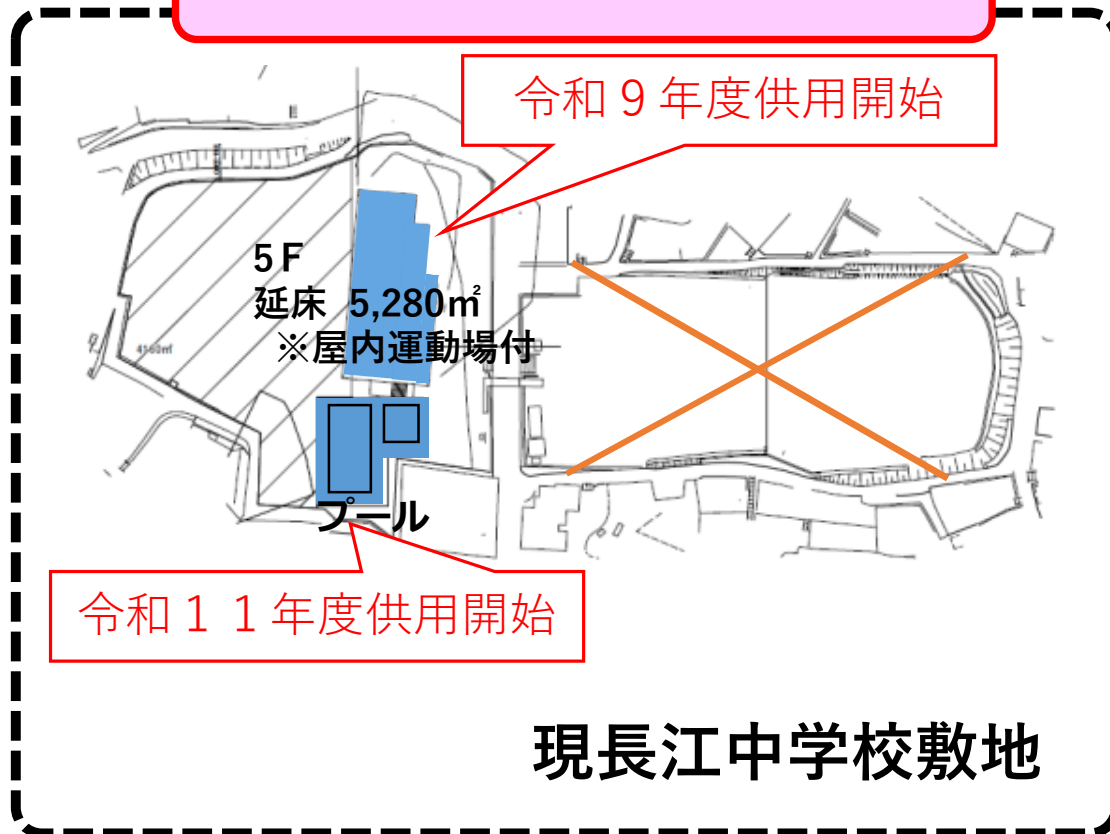




# 学校再編案について

令和7年4月開校 ⇒ 令和9年4月新校舎使用開始

## 新しい小学校



## 新しい中学校



# 適正な学校規模の確保について

## 尾道市立小・中学校再編計画（平成23年）

### 1. 学校再編の理由

#### 1) 適正な学校規模の確保

- ◎ 複式学級の早期解消
- ◎ 1学年複数学級化の推進



## 尾道市立小・中学校の適正配置および通学区域について（平成14年）

### 3 望ましい小学校・中学校の適正規模に関すること

#### (2) 学年の適正な学級数について

#### 学年の適正な学級数は複数学級である

- ・ 学校教育法施行規則が定める標準学級数
- ・ クラス替えや他のクラスとの合同授業等、幅広い活動が可能
- ・ 市民アンケートの結果

## 複数学級化のメリット

**「児童生徒が多様な考え方に触れる機会」や「学び合いの機会」を充実させていくには、適正な学校規模が必要**

- クラス替えが可能になる  
⇒人間関係の固定化につながらない  
⇒クラスごとに切磋琢磨することができる
- 教科担任制による専門的な指導を実施しやすい
- 複数の教員により、組織的な指導が可能になる  
⇒多面的な児童理解を通じた児童の心の安定につながる
- 生徒が増えることにより、部活動の活性化につながる（中学校）

# 【土堂小学校】児童数の今後の見込み

	R 5		R 6		R 7		R 8		R 9		R 10	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年生	11	1	13	1	10	1	14	1	5	1	3	1
2年生	7	1	11	1	13	1	10	1	14	1	5	
3年生	20	1	7	1	11	1	13	1	10	1	14	1
4年生	31	1	20	1	7	1	11	1	13	1	10	1
5年生	45	2	31	1	20	1	7	1	11	1	13	1
6年生	56	2	45	2	31	1	20	1	7	1	11	1
特支 (自情)	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	0	0
計	172	9	129	8	94	7	76	7	61	7	56	5

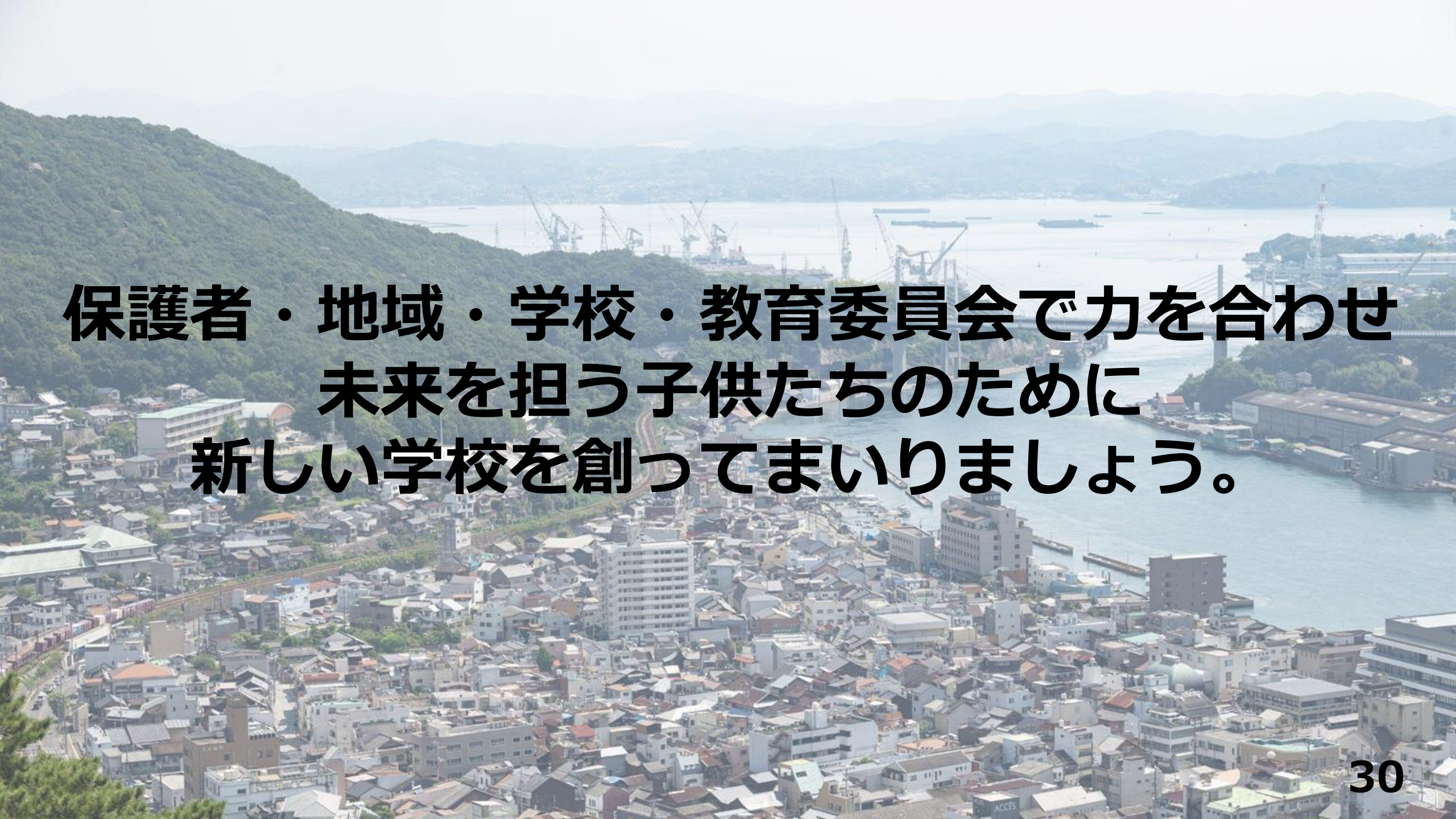
※令和4年11月22日の育友会役員説明会で示した人数。見込みには学校選択に係わる兄弟姉妹入学者を加えている。  
 ※令和6年度以降の入学者には学校選択制による入学者と特別支援学級への入学者は考慮していない

# 【新しい小学校】 児童数の今後の見込み

	R 5		R 6		R 7		R 8		R 9		R 10	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1年生	46	2	45	2	36	2	36	2	40	2	27	1
2年生	40	2	46	2	45	2	36	2	36	2	40	2
3年生	53	2	40	2	46	2	45	2	36	2	36	2
4年生	70	2	53	2	40	2	46	2	45	2	36	2
5年生	88	3	70	2	53	2	40	2	46	2	45	2
6年生	93	3	88	3	70	2	53	2	40	2	46	2
特支 (知的)	6	1	4	1	2	1	2	1	0	0	0	0
特支 (自情)	14	2	13	2	12	2	7	1	4	1	0	0
計	410	17	359	16	304	15	265	14	247	13	230	11

※令和4年1月22日の育友会役員説明会で示した人数。見込みには学校選択に係わる兄弟姉妹入学者を加えている。

※令和6年度以降の入学者には学校選択制による入学者と特別支援学級への入学者は考慮していない

An aerial photograph of a coastal town, likely in Japan, showing a dense residential area with many small buildings and a harbor area with several cranes and ships. The town is situated on a hillside, and the background features a large body of water and distant mountains under a clear sky.

**保護者・地域・学校・教育委員会で力を合わせ  
未来を担う子供たちのために  
新しい学校を創ってまいりましょう。**